

令和八年 第一回

# 七宝会公演

いざ車僧  
行比べせん

夫に代われる  
この身ならば  
この牢の中をば  
出づまじや

最も古典にして、  
最もアヴァンギャルドな芸能  
能楽をみなさまに

七宝会  
宝主会

◆2月7日(土) 12時半開演

◆枚方市

総合文化芸術センター本館  
関西医大小ホール

能 「籠太鼓」 辰巳大二郎

舞入

狂言 「二九十八」 善竹 隆平

能 「車僧」 澤田 宏司

主催/公益財団法人友愛会



# 令和八年 第二回 七宝会公演

七宝会  
宝生流

## 【番組】

### 能 「籠太鼓」

舞入

関清次 辰巳大二郎 大鼓 辻 芳昭

松浦殿 喜多 雅人 小鼓 清水 皓佑

松浦殿の 善竹 隆司

笛 赤井 啓三

### 狂言 「二九十八」

シテ 善竹 隆平 アド 上西 良介 後見 上吉川 徹

### 能 「車僧」

太郎坊 澤田 宏司 大鼓 山本 哲也 太鼓 上田 慎也

深山禅師 福王 知登 小鼓 高橋奈王子 笛 貞光 訓義

太郎坊の 眷属 小西 玲央

- ◆日時 令和八年 二月七日(土) 十二時半開演(十二時開場)
- ◆会場 枚方市総合文化芸術センター 本館 関西医大 小ホール
- ◆料金 指定席 5,000円 自由席 3,500円 学生 2,000円

### ◆スマホde解説

「衆我財団」様の支援事業として、お客様ご自身のスマホをお使いいただき、ご自身のイヤホンで解説をお聴きいただけるサービス提供が始まりました。ご希望の方はスマホとイヤホンをご持参のうえ、ご体験くださいませ。

## 【解説】

◇能 「籠太鼓 舞入」 ろうだいこまいり  
九州 松浦の里の住人・関清次は、殺人の罪により、領主・松浦殿の牢に入れられていた。しかしある日、脱獄を遂げた清次。行方を詮議すべく召し出された彼の妻は知らぬと言ふばかりなので、松浦殿は彼女を夫の代わりに牢へ入れさせ、監視を怠らぬよう、傍らに鼓を懸けさせて毎時打つよう番人に命じられた。ひとり夫を偲んで涙しつつ、この牢こそ夫の形見よと恋慕う妻。例の鼓を目に留めた彼女は、夫への思いを託して鼓を打ちはじめた彼女は、幻視の中に現れた夫の面影に喜び、牢を出まいと決意する。その姿に観念し、夫の罪を赦そうと宣言した松浦殿。妻はその言葉に喜ぶと、夫が身を寄せている先へ向かってゆくのだった。

◇狂言 「二九十八」 にくじゅうはち  
清水寺の観世音に妻乞のため参詣にきた男に、「西門の一の階に立った女を妻にせよ」とのお告げがくだされる。そのお告げ通り、衣を被いた女が門前に立っていて、男は「御夢想のお妻様か」と尋ねると、女は歌で返答をする。次に住まいを尋ねると女は、「にく」と答えて姿を消してしまう。追いかけた男は、2×9118軒目と推理したとおりの場所で女を見つけた。男は、これを運命とばかりに結婚を口にするが…。

◇能 「車僧」 くるまぞう

牛も繋がぬ車を法力によって自在に乗りこなす、「車僧」との異名をもつ禅僧・深山禅師。ある冬の日、禅師のもとに山伏姿の男が禅問答を挑んできた。魔道へ誘惑しようと企む男。しかし禅師は舌鋒鮮やかに受け流す。男は自分こそ大天狗の太郎坊だと正体を明かし愛宕山へと飛び去ってゆく。愛宕山に到った禅師の前に、真の姿を現した太郎坊。禅師に法力比べを挑むが、禅師は法力を自在に操り、車のまま天空を飛びまわって太郎坊を翻弄する。太郎坊も嵯峨野の山河を翔りめぐって対抗するが、ついには観念し、禅師のもとから退散してゆくのだった。

### ◆令和八年 七宝会年間会員について

- 年会費 13,000円
- 年間4公演のうち、普及公演を除く3公演の指定席代金15,000円を13,000円でご提供いたします。
- 発売・予約開始は、会員は60日前(一般は50日前より)。
- 年度途中からでも会員にお申し込みいただけます。

## 宝生流 七宝会

〒572-0009

大阪府寝屋川市末広町11-8 辰巳方

TEL 072-831-3206

FAX 072-832-5115



枚方市総合文化芸術センター 本館  
関西医大 小ホール  
大阪府枚方市新町2-1-60

京阪電車「枚方市」駅から徒歩約5分